

## 令和7年度第1回図書館協議会会議録要旨

日 時 令和7年7月4日（金）  
午後2時～午後3時15分  
場 所 中央図書館 視聴覚室

出席者 会長 野口 さち子 委員 松本 直人  
委員 岩井 定夫 委員 小林 誉  
委員 中島 由佳子 委員 石塚 淳子  
委員 宮沢 夕輝  
(出席委員 7人)

事務局 飯村館長（中央図書館） 野口副館長 石橋館長（うずも図書館）  
前田主査 小松主幹

### 1 開会

(野口副館長) 本日はお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。  
本日の出席者は7名、委任状の提出は3名です。神栖市図書館協議会規則第5条第3項により、過半数以上の出席となりましたので本会議は成立しております。  
ただいまより、令和7年度第1回神栖市図書館協議会を開催いたします。

### 2 挨拶

(会 長) みなさま、改めましてこんにちは。会長の野口でございます。  
本日はお忙しい中、委員の皆様には図書館協議会にご出席いただき本当にありがとうございます。令和7年度第1回図書館協議会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
当協議会は、図書館長の諮問に応え、図書館の運営方針・事業計画等について、委員の皆様からご意見をいただき、市民が求める「図書館のあり方」を審議する機関としての役割を担っております。皆様から忌憚のないご意見をいただき、ご一緒に「市民に役立つ」図書館事業の伸展に寄与できますよう協議を進めて参りたいと考えております。よろしくお願いたします。

(事務局) みなさまこんにちは。ただいま紹介にありました館長の飯村でございます。本日はご多忙の中、委員の皆様には令和7年度第1回図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より、図書館事業においてご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。  
さて、現在、市内各図書館等では、これまで以上により多くのお客様に親しんでいただけるよう、様々な取組を充実させております。本日は、昨年度に取組みました事業につきまして、本協議会にご報告をさせていただき、委

員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴しながら、今後の活動につなげてまいりたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 案件

#### (1) 報告第1号「令和6年度 神栖市立図書館事業報告について」

---

(事務局) [説明]

(会長) 以上事務局より説明が終了いたしました。本件は報告案件ですが、何か質問がございましたらお願いいたします。

(委員) 「1 図書資料整備事業(2) 図書館資料の貸出し」の予約・リクエストの件ですが、オンラインが4万9千件あるのに、リクエスト受付数が1千17件だけしかないのは、選ぶ基準などがあるのですか？

(事務局) 資料のとおり、予約受付数が5万4千829件あり、そのうちの4万9千408件がオンライン受付となっておりますが、こちらは、すでに所蔵している資料に予約が入った数です。リクエスト受付数というのは、神栖市内の図書館・図書室で未所蔵の本に対して、これを買ってほしいと出されたもので、これが1千17件あったということです。

(委員) そういうことだったんですね。わかりました。

(会長) ありがとうございます。そのほかに何か質問はございますでしょうか。

(委員) 児童向けのイベントや取り組みがいろいろされていますが、どれも参加数がよく、とても良い傾向だなと思います。昨年度より予算が増えて、その分参加も伸びているのは費用対効果があるなと感じました。図書館の方でも、結果が表れていると感じていますか？

(事務局) 令和6年度の児童サービスで決算が増えている件につきましては、「4 主要サービス 児童向け(4) 乳幼児向け」のブックスタートの購入数が前年度より増えた分と単価が上がった分、そして、ブックスタート・フォローアップの本を令和5年度は在庫があったため購入せず、令和6年は購入した分が増となっております。

また、ずっと同じイベントをやっていると皆さんからも飽きられてしまうので、毎年少しずつこれまでと違うものを取り入れ、皆さんに興味をもっていただいたり、新しい利用者の方に来てもらったりできるよう、司書が中心になって考えておりますので、それが参加数に表れているのかもしれない。ただ、これに驕らず、今後も色々なイベントができるよう対応してまいりたいと思います。

(委員) たとえば「としょかんナゾとき」だと、3週間で785人の参加があったとのことで、1週間だと260人くらいになるので、すごく人気があったんだとわかる数字ですよ。子どもたちが楽しめているという結果だと思うので、すごくいいことですね。

また、「3 学校図書館支援事業 (2) 学校★ほんお届けサービス」のスタンプカードですが、最近始まったものでしたか？

(事務局) 今年で3年目になります。

(委員) 利用者は2千300人ほどということで、先ほどの説明の際、何十冊も本を借りてる子は、スタンプカードももう何十枚も持っているとお話がありましたが、本を10冊以上本を借りている子は何人くらいいますか？たくさん借りているのは本が好きな子だと思うのですが、スタンプが貯まってプレゼントをもらえるのは嬉しいですね。たくさん読んだ子には図書カードとかあげられるといいかなと思うのですが、本が好きな子が何をもらったら嬉しいのか、難しいですね。

(事務局) そうですね、先ほど説明をしたとおり、スタンプ、実際にはシールなのですが、シールが10個貯まった方には、本当にちょっとしたものではありませんが、景品を渡しています。ノートだとか、消しゴムだとかですね。小林委員がおっしゃった、スタンプカードが10枚、20枚となった子どもには良いものをあげられたらというおはなしですが、現状はなかなか難しいかなというところですね。ただ、読書や学校★ほんお届けサービスに興味をもってもらえるきっかけになるのであれば、図書館としても検討してまいりたいと思います。

(事務局) 個人の貸出冊数はデータをとっていないのですが、スタンプカードが1枚目、つまりシールを10個集めた方は、2024年度では81人でした。また、スタンプカードが20枚目以上となった方は3人です。

(委員) いかに学校★ほんお届けサービスで本を読んでいるかがわかりました。今後、より良くできるように私たちも意見が出せればと思います。

(会長) では、私の方からもひとつ失礼します。本日の報告ですが、プロジェクターで写真をたくさん出してくださって、本当にとってもわかりやすかったです。報告を文字だけで読むより、こういうことをしているんだ、というのが目で見てよくわかりました。資料は資料でももちろん必要なもので、両方で見られるこういう報告はすごくいいなと感じました。ありがとうございました。

(委員) この部屋に、こんな設備があったんですね。いつからあるのですか？

(事務局) 設備自体は開館当初からありますが、普段はスクリーンは閉じて隠れているので気付かないかもしれません。毎月の子ども映画会や、一般映画会なども、ここでおこなっています。

(会長) それともうひとつ。これは報告案件ですので聞いていただくだけでいいのですが、学校図書館支援の5年度と6年度の予算を比べた時に、6年度がすごく少ないんですね。それでも数字が出ているので、みなさんがとても努力されたんだなというのがここでよくわかりました。大変な思いをされているんだというのが伝わります。ありがとうございます。

(委員) 図書館の利用促進につながる取り組みがたくさんあって、ひとつひとつ手作り感があったり、アイデアを駆使したようなものだったり、多様な年齢層

に対応しているものがあったり、とても職員のみなさんのがんばりが伝わってきました。この取り組みなのですが、たとえば、年間スケジュールのようなものは事前に皆さんに周知できるよう情報発信しているのか、それとも職員の方たちがアイデアを出し合って直前に決まってからの情報発信なのか、その辺をお聞きしたいです。

(事務局) 毎年事業計画として作成しているもので、通常2月頃に開催するこの図書館協議会でもお諮りしています。事業計画はまず職員で見て、意見を出し合い、修正などをして、決定したものを職員間で周知しています。

(委員) ポスター化などして、1年間、何月に何があるといったようなものを図書館で掲示したりは。

(事務局) それは、していません。そちらにつきましては、情報は広報誌に掲載することになっておりまして。その都度イベントごとに、図書館などにポスターを掲示、また、イベントによっては小中学校にポスターを配布しています。そのような状況ですので、年間スケジュールを掲示したり、表に出しているものではありません。

(委員) どれも素晴らしい取り組みなので、子どもたちや市民の方に向けてわかりやすく単純化したスケジュールがあればいいなと思ったものですから。

(委員) 今、私は神栖三中の方に行っているのですが、朝に読書の時間があったりして、生徒はすごく本を読んでいるんですね。昼休みに図書館に行く月に何冊読んだというような表彰があったりします。そんな感じで、中学校8校、小学校14校が、それぞれこの学校が一番本を読んでいるかなんてのをやると盛り上がるのかなと思いました。せっかくなので、競争をして表彰などしたらやる気が出るのではないのでしょうか。

神栖三中は本当にみんなよく本を読んでいて、昼休みは委員会の子が貸出をしているのですが、間に合わない時があるくらいです。ただ、隅々まで見ると、もう誰も読まない、いらぬような古い本がいっぱいあるんですね。それで、学校図書館指導補助員さんを手伝って、一緒に片付けています。図書館の方でも学校図書館訪問で何回も行っているみたいなので、何かいいアイデアを出してもらったりしたいですね。

(事務局) まず、朝読のおはなしをされていらっしゃいましたが、一時期、働き方改革などで読書の時間が別の時間に替わってしまい、実施していない学校が多かったのですが、学校図書館アドバイザーが全学校を回って聞き取りをした最新情報ですと、現在は中学校1校を除いたすべての小中学校が朝読を実施しているとのことでした。

また、競争をしてはというおはなしですが、図書館では、学校図書館の年間貸出数などの統計を年度末に調査し、まとめたものを年度明けに各学校に返しています。それを見ると、自分の学校が何番目かというのがわかるようになっていたので、下の方だった学校さんが「うちは頑張らなくちゃいけないな」と思っただけならば、読書推進に力を入れてくれているのではないかと思います。

(委員) 学校用配本事業ということで、小中学校、幼稚園・保育園に貸出しているとのことでしたが、先ほどお話しがあったように小中学校は他にも色々利用

されているのですが、幼稚園や保育園はどのくらい貸出ししているのでしょうか。もうひとつ、図書館の見学を受入しているとのことですが、小学校8校に幼稚園1園とのことで、幼稚園でも興味関心があるようですが、そのあたりはどうでしょうか。

(事務局) まず、配本の貸出ですが、令和6年度は幼稚園が市内4園中4園、保育所・こども園は、公立3園中3園、私立は31園中13園が利用してくださっています。

また、図書館見学に来館した幼稚園はもう毎年見学に来てくださる幼稚園さんで、一度見学に利用されて、良かったと思っていただけたようで、そのあともずっと利用してくださっています。幼稚園の見学では、読み聞かせをしたり、自由に本を見る時間を設けたりしています。

(委員) そういう風に熱心な園がある一方で、そうでない園もあるということですね。

(事務局) 配本の利用申込みのおしらせは毎年全部の園に出しているのですが、利用しないところはずっと利用しないというのも多く、利用をしない場合でもお返事ください、というようにしてもお返事をいただけないままというところもあります。ただ、配本を利用しなくても自分の園にすでに絵本がたくさんあるということもあるかもしれないので、それ以上何かするということはありません。

(委員) 主要サービスの「一般向け」が令和6年度決算は0円なのですが、これは何もかからなかったんですか？

(事務局) 令和5年度が62万1千円の決算なのですが、これは著者を囲む会を実施し、その金額となります。令和6年度は著者を囲む会ができないことになりましたので、0円となります。他のイベントで、ポスターやちらしを印刷する紙などを使用することはありますが、一般向けサービスのためだけに購入した物というわけではないので、ここには含まれません。

(委員) 落語会などをしていて、その人たちを招いているのにかからないんですか？ボランティアなのですか？

(事務局) 落語会はボランティアの方々です。落語会をやりたいというお話があつて、場所を貸出しているという形になりますので、金額は発生していません。

(会長) そのほか、質問がある方はいらっしゃいますか。  
ほかに質問がないようですので、本件はこれをもって報告済みといたします。よろしいでしょうか。

(委員一同) 異議なし。

(会長) ありがとうございます。それでは次の「その他」に入りたいと思います。

## 4 その他

---

### 諸般の報告

- ・市制20周年記念特別企画「広報かみす まちの魅力再発見展」
- ・被爆体験伝承講話

(事務局) [説明]

(会長) 事務局から説明がありましたが、みなさん何か質問はございますでしょうか。ないようですね。

それでは、以上をもちまして令和7年度第1回図書館協議会すべての案件が終了いたしました。みなさま方には、長時間にわたり慎重な審議をしていただきまして、本当にありがとうございました。

(一同) ありがとうございました。

以上